



Metro Denver

Economic Development Corporation

pam.reichert@metrodenver.org



jeffrey.king@state.co.us



選ぶなら

コロラド州



コロラド州

コロラド州は、アメリカにおいて最も優れたビジネス環境を備えています。軽い税負担、低ビジネスコスト、高度の教育と技術トレーニングを受けた労働者、資本へのアクセス、公正で分かり易い規制などの環境を求める場合、コロラド州は最適です。同州はアメリカ中心部に位置し、国際空港、最新のインフラにより、米国内のみならず世界中に商品やサービスを円滑に提供することができます。



位置、一般情報、インフラ

コロラド州は、アメリカ合衆国の中心部に位置します。同州はダイナミックで多様な経済活動により、ロッキーマウンテン西部の商工業の中心となっています。

- ・ **地理的中心:**コロラド州都デンバーは、アメリカ大陸の中心からわずか556 km西方に位置しています。その地理的な位置により、コロラド州は米国、北米市場において重要な事業展開地となっています。
- ・ **山岳部標準時:**コロラド州は山岳部標準時地域に位置し、東西両海岸部とヨーロッパ、南米、アジアとは同一日に連絡を取ることができます。
- ・ **世界各地へのアクセス:**コロラド州は主要取引国であるカナダとメキシコの中間に位置しています。また、同州は、東京とフランクフルトの中間点であり、成長中の国際市場にも容易にアクセスすることができます。
- ・ **低い自然災害のリスク:**コロラド州は、「地震、竜巻、火山指数」において、低いランクに位置しています(ランクで下位になるほど、自然災害の発生率は低くなります)。

コロラド州一般情報

面積(平方キロメートル)	268,412
人口 2010年度	5,048,196
人口 2013年度(米国国勢調査 推計)	5,268,367
人口 2020年度(州人口統計局 推計)	6,000,000
労働人口	2,773,100
非農業部門雇用者	2,422,300
平均年齢	36

コロラド州人口別都市

(2012年度国勢調査 推計)

デンバー	634,265
コロラドスプリングス	431,834
オーロラ	339,030
フォート・コリンズ	148,612
レイクウッド	145,516
ソートン	124,140
アーバダ	109,745
ウェストミンスター	109,169
プエブロ	107,772
センテナリアル	103,743
ボルダー	101,808

コロラド交通ネットワーク



コロラド州は、最新で総合的なインフラを備えており、世界各地のビジネス市場に迅速にアクセスすることができます。同州の輸送、コミュニケーション、エネルギーインフラは、量的にも信頼度においても十分であり、高速道路、鉄道、航空路線のネットワークにより、世界中に人々が自由に移動し、商品が届けられます。



国際的なアクセス



デンバー国際空港

デンバー国際空港は、スカイトラックス社が実施した顧客調査において、北米で第3位に優れた空港であると評価されています。デンバー国際空港は、10社の米国航空会社および4社の海外航空会社が発着し、定期便を運行しており、市場への特別なアクセス拠点として機能しています。デンバー国際空港に加え、コロラド州には、17の商業、62の一般空港があります。

デンバー国際空港の特徴：

- ・ 乗客利用数において国内第5位の空港
- ・ 乗客利用数において世界第15位の空港
- ・ 170の国内目的地への直行便、一日に1400便以上
- ・ 25の海外目的地への直行便(デンバー-成田空港間の便も含む)

東京 - デンバー直行便

東京 - デンバー間の直行便のサービスは、日本とコロラドの間において双方の商業発展、研究パートナーシップ、そして教育文化交流を支援しています。直行便は毎日運行し、移動時間を4時間近く短縮しています。東京成田国際空港とデンバー国際空港は、それぞれスターアライアンスのパートナーであるANA、ユナイテッド航空の主要接続ハブとして機能しています。アメリカおよびアジアからの旅行者は、この新しい東京 - デンバー直行便を利用して、日常的に100を超える都市に移動することができます。



デンバーからの直行便行き先



主要産業



航空宇宙

コロラド州は、アメリカで第三位の規模を誇る航空宇宙産業地であり、140の航空宇宙会社、400を超える納入業者が集まっています。直接雇用として、計55,120人の従業員が勤務しています。コロラドの航空宇宙会社は、誘導ミサイル、宇宙航空機、打上げシステム、衛星、その他の通信装置、ナビゲーションおよび検知機器の研究と開発、設計、および製造に携わっています。主要航空宇宙会社には以下が含まれます：ボール・エアロスペース、ボーイング、エクセルリス、ロッキード・マーティン、ノースロップ・グラマン、レイセオン、シエラ・ネバダ・コーポレーション、ユナイテッド・ローンチ・アライアンス。

生物科学

コロラドの600近い生物科学会社には、計15,000人近くの従業員が勤務しており、がん、心臓病や様々な感染症への治療法、農業生産高の改善、医療装置の製造の研究に従事しています。いくつものセンターが開発を支援しています。具体例としては、フィッツサイモンズ・ライフ・サイエンス地区と隣接のアンシューツ・メディカル・キャンパスは、国の医療開発に積極的に携わっています。コロラドにある生物科学会社には以下が含まれます：アロソース、アムジェン、アレイ・バイオフィーマ、コヴィディエン、シャークレット・テクノロジーズ、テルモBCT、トルマー。

エネルギーと鉱業

コロラド州は、エネルギー産業分野での国内リーダーであり、炭化水素エネルギー源の強力な基盤があり、クリーンテクノロジーと再生可能エネルギーの国際ハブとしての評価を得ています。同州は、ソーラー、風力、バイオ

燃料、天然ガス、石油、石炭を含む多様なエネルギー源を促進しています。コロラドは、天然ガスと低硫黄石炭を豊富に供給できる資源地です。コロラドのエネルギー会社および鉱山会社には以下が含まれます：アベンゴア・ソーラー、アナダーコ・ペトロリアム・コーポレーション、アセント・ソーラー・テクノロジーズ、コノコフィリップス、ニューモント・マイニング、ノーブル・エナジー、サミット・マイニング・インターナショナル(住友)、SMAアメリカ、LLC、ヴェスタス。

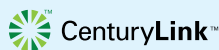
食料と農業

コロラド州は、従来より農業と牧畜、そして自然・オーガニック食品、飲料製造、グローバルなレストラン・フランチャイズにおいて豊かな基盤があります。産業の年間経済生産高は、50億ドルを超え、100を超える国に輸出しています。日本は、コロラド産牛肉の上位輸入国であり、2013年度は、日本への輸出額が1位に上昇しました。

情報テクノロジー

コロラド州にある12,700を超えるハイテク企業では、計162,600人の従業員が勤務しており、同州は、テックアメリカ社の調査による「サイバーステーツ 2013」によれば、ハイテク労働者数密度は米国において第3位を誇ります。同地域は、起業活動を行う地にふさわしく、テクノロジー分野における起業では、ボルダーが全米1位にランクしています。テクノロジー財団エンジンおよびクーイング・マリオン・カウフマン財団による評価では、フォート・コリンズは第2位に、デンバーは第4位にランクしています。

コロラド州に主要拠点を置くフォーチュン500企業



イノベーション



コロラド・イノベーション・ネットワーク(COIN)は、グローバルリーダーの物理的・仮想ネットワークの構築に従事しており、イノベーション・エコシステム、会社の成長、雇用創出の支援を行っています。同組織は、コロラド州デンバーにて年次サミットを開催し、世界中からリーダーが意見交換のために集います。

<http://www.coloradoinnovationnetwork.com/>

米国特許商標庁(USPTO)は、デンバーを4つの地域USPTO支庁の一つとして選びました。これはバージニア州にある本庁以外に設置する4支庁のうちの一つとして選ばれたものであり、コロラド州のイノベーションに対する評価が確立されたことを意味しています。科学・技術分野に人材が集中しており、労働者にとって魅力ある場所であり、空路によるアクセスに優れ、生活費が低いことから、デンバーが選ばれたのです。

連邦研究所については、コロラド州は、科学、研究、工学関連の連邦施設が最も高度に集積した州の一つであり、24の連邦政府の資金による科学研究所があります。これらの研究所には著名な科学者が集まり、天然資源管理、気候変動、再生可能エネルギー、フォトニクス、天体物理学などの研究に携わっており、その影響力は世界規模です。8,000人近くの職員が勤務し、2012年度は、コロラド州に23億ドルの経済貢献をもたらしました。再生可能エネルギーとエネルギー効率の研究・開発の国内主要研究所である国立再生可能エネルギー研究所(NREL)も同州に所在します。

主な連邦研究所と研究センター

- ・ 国立再生可能エネルギー研究所(NREL)
- ・ 米国海洋大気庁(NOAA)
- ・ 国立標準技術研究所(NIST)
- ・ 大気研究大学団体(UCAR)
- ・ 国立大気研究センター(NCAR)
- ・ 大気研究共同研究所(CIRA)
- ・ 環境科学研究共同研究所(CIRES)

主な研究大学

- コロラド大学ボルダー校(CU) – ボルダー
- コロラド州立大学(CSU) – フォート・コリンズ、デンバー
- デンバー大学(DU) – デンバー
- コロラド鉱業大学(Mines) – ゴールデン
- 米国空軍士官学校 – コロラド・スプリングス



ビジネス環境



コロラド州は、国内外ビジネスにおいて優れた拠点です。コロラド州は、情報技術・イノベーション財団が発行する2012年度ステート・ニュー・エコノミー・インデックスにおいて総合7位、また、いくつかの項目において上位10位内に入りました。特に、同州は、従業員教育、ベンチャーキャピタル、起業家活動において3位、電子政府、科学者とエンジニアにおいて5位、情報技術職職務、管理的職務・専門的職務、ハイテク職務において6位、知識労働者移転、急成長企業、発明者特許、株式公開において9位にランクしています。2013年、同州は、ハモン・デルタック、デジタルグローブ、サミット・マテリアルズ、ホワイトウェーブ・フーズといった10の会社が本社をこの地に構えています。

コロラド州は、投資と革新を支援するため、競争的に優れた事業税構造を確立しています。州・地方ビジネス事業税の適度な設定により、コロラド州は、国外および国内のあらゆる種類の事業ニーズに適合しています。

税金について

- ・ 法人所得税を課税するあらゆる州の中でも最も低い所得税率(4.63%)
- ・ 州売上税を課税する州において最も低い州売上税(2.9%)
- ・ 税割り当ての単一要素はコロラド州での企業売上へののみ法人所得税を課税
- ・ 州、地方、特区の売上税の合計は3.15% ~ 8.75%の範囲で設定。



優遇措置

コロラド州は、あらゆる規模の企業家と事業に対し多くの優遇措置を用意しています。新規雇用機会条件を満たした企業を対象に成果に応じて優遇措置を提供したり、カスタマイズされたトレーニング補助金を用意しています。

- ・ **事業成長に対する税制上の優遇措置**
事業成長に対する税制上の優遇措置は、このプログラムなしではコロラド州で生まれられないような雇用機会の創出を設ける事業に州の所得税控除を提供します。
- ・ **戦略的資金インセンティブ**
戦略的資金インセンティブプログラムは、新しい雇用機会を創出する新規事業開発、事業拡大や事業移転を支援・奨励します。
- ・ **企業地区税額控除**
コロラド州の企業地区(EZ)プログラムは、経済的困難を抱えている地区において事業を展開するよう奨励する税制上の優遇措置を設けています。
- ・ **職務トレーニング補助金プログラム**
コロラド・ファースト・既存産業トレーニング補助金は、コロラドに事業を展開する企業や、新しい技術を採用する既存の企業のためのものです。このプログラムは、企業の競争性を支援し、また労働者の経歴や長期雇用の機会を強化する移転可能な技能を増強します。
- ・ **地方政府による優遇措置**
地方政府は、各地方管轄権の方針に基づいて、事業用地方個人固定資産税の免除、許可料の全額または一部免除、建設資材と装置の売上税/使用税の免除または払い戻しなどの優遇措置を提供することができます。

上記、コロラド州が提供する優遇措置に関する詳細情報はwww.advancecolorado.comをご参照ください。

ビジネス環境



労働力

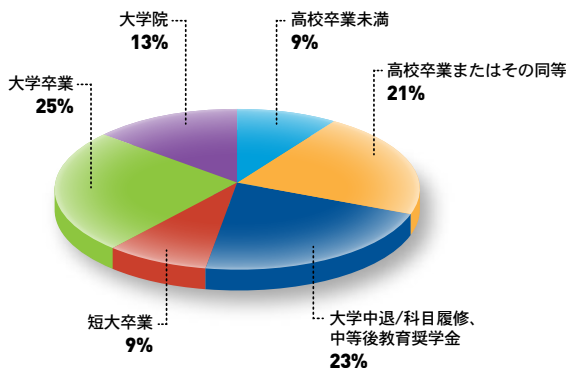
コロラド州には、国内でも高い教育を受けた、技術的知識の豊富な、健全な人材が多く集まり、幅広い産業において広く貢献しています。若く、熟練した、成長過程にある労働力は、コロラド経済を大きく活気付けています。

また、コロラド州で働く人々は、生産性が高く、一人当たりの国内総生産において常に上位10位内に入っています。雑誌フォーブスは、コロラドは国内で最も労働要員がある州であると評価しています。

公共設備と水

同州の公共料金設定は、他の州に比べ公平性が高く、費用は多くの主要都市部より低いものとなっています。エクセル・エナジーは、州で最も大きな公益事業（電力会社）であり、フロント・レンジ地域（ロッキー山脈東側）に沿って電力と天然ガスの主要供給者であり、ロッキー山脈から西側地域においてもサービスを提供しています。トライステート・ジェネレーション&トランスミッション・アソシエーションは、コロラド州の44電力協同組合シェアホルダーに卸売電力を供給しています。

生産年齢人口の学業経歴(年齢25~64歳)



出典：米国情勢調査局、2012年度アメリカ地域調査



職業別平均年収

都市	すべての産業	管理職務: 全ての職務	ビジネス&財務: 計士および監査人	コンピューター & 数学: コンピューター プログラマー	建築&工学: 生産技術者	生命・物理・ 社会科学者 生物化学者、 生物物理学者	生産機械技術者
ボストン, MA	\$58,350	\$127,160	\$76,760	\$81,130	\$90,630	\$102,840	\$47,370
シカゴ, IL	\$49,120	\$107,830	\$75,340	\$77,830	\$74,000	\$60,580	\$42,160
ダラス, TX	\$46,130	\$111,340	\$74,710	\$79,410	\$87,720	\$95,420	\$37,430
デンバー, CO	\$50,960	\$121,360	\$76,710	\$89,160	\$89,970	\$87,890	\$41,140
ロサンゼルス, CA	\$51,990	\$123,550	\$75,460	\$81,740	\$95,360	\$89,620	\$39,210
サンディエゴ, CA	\$50,770	\$117,070	\$74,860	\$77,290	\$86,410	\$103,730	\$41,130
サンフランシスコ, CA	\$62,680	\$135,790	\$83,320	\$99,240	\$105,040	\$89,240	\$51,990
サンノゼ, CA	\$69,670	\$151,370	\$86,020	\$97,400	\$107,520	\$103,180	\$48,050
シアトル, WA	\$55,890	\$120,610	\$71,920	\$95,860	\$89,060	\$83,940	\$52,780
ワシントン, DC	\$63,750	\$130,980	\$83,730	\$87,370	\$98,500	\$73,380	\$48,680

出典：米労働統計局、職業別雇用と賃金の推計、2012年5月

日本とコロラドの関係



ビジネス

約50の日本企業がコロラドで活動しています。コロラド日本企業懇話会(JFA)は、日本とコロラド間の事業活動を積極的に支援しています。近年では、日本企業により多くの投資がデンバーで行われています。これらの企業を支援するために、コロラド日本企業懇話会は、デンバー日本語補習校を所有・運営しており、デンバーに住む、駐在員家族向けの教育に関する支援を行っています。さらに、多くのコロラド州を本拠地とする企業が日本で事業活動を行っています。

コロラド州に拠点をおく日本企業

Asahi

HITACHI
Inspire the Next

NTT Communications

RICOH

Sumitomo

TERUMO



日立データシステムズのコメント



「事業拡大のため、日立データシステムズのコロラドオフィス新拠点の選択について多くの重要要素を検討し、デンバー地区が最も事業目標と価値に合うと判断しました。豊富な人材要員や技術的専門知識の深さに驚いただけでなく、企業の社会的責任の観点や、コロラドが提供する生活の質全体に共感したのです。あらゆる段階において、当社の事業拡大を支援して下さった政府、事業、地方の組織のおかげで、これが正しい選択であったと確信することができました。」

ロジャー・ヒューズ氏
グローバルITインフラストラクチャ
& サービスデリバリー パイオプレジデント

日本-コロラド姉妹友好都市関係

勝山市	アスペン市
占冠村	アスペン市
山形市	ボルダー市
上田市	ブルームフィールド市郡
河北町	キャニオンシティ市
富士吉田市	コロラドスプリングス市
高山市	デンバー市
西川町	フリスコ町
守谷市	グリーリー市
茅野市	ロングモント市
山形県	コロラド州

日本とコロラドの関係



日本 - コロラド間の貿易と投資

日本からコロラドへの輸入 上位5位

品目	2013年度合計
光学、画像、医療用機器または手術器具	\$ 52,089,649
コンピューターを含む産業用機械	\$ 50,039,476
電気機械、音響機器、テレビ機器	\$ 25,148,793
修理/返却部品	\$ 11,705,965
工具、切断器具など(ベースメタル)	\$ 5,120,531
その他の品目合計	\$ 172,245,119



コロラドから日本への輸出 上位5位

品目	2013年度合計
肉および食用の内臓肉等	\$ 199,205,265
光学、画像、医療用機器または手術器具	\$ 76,400,415
コンピューターを含む産業用機械	\$ 46,046,457
電気機械、音響機器、テレビ機器	\$ 34,766,136
有機化学品	\$ 11,280,011
その他の品目合計	\$ 273,552,705

日本海外直接投資

	合計
アメリカへの直接投資(2011年)	186億ドル
対内直接投資残高	2,900億ドル
日本の企業により雇用されているコロラド州内労働者(2010年)	3,865人





歴史的・文化的つながり

デンバー地区は、大規模で発展中の日本人コミュニティの本拠地であり、優れた学校、レストラン、関連する商業や事業により支えられています。デンバー美術館、デンバー植物園といったデンバーの主要文化施設は、日本のコレクションを展示し、毎年、デンバーでは、アメリカ西部最大規模の桜祭りが開催されています。コロラド日米協会といった複数の団体が文化的な結び付きを強化しようと努めています。

コロラド州と日本の長く続いている深い結び付きは1800年代まで遡ります。とりわけ重要な出来事は、コロラド州知事ラルフ・カー氏の行動です。第二次世界大戦中、カー州知事は、日系アメリカ人をコロラド州に迎え入れ、擁護しました。当時、このような方針は評価されたものではありませんでしたが、同州は彼の勇気と賢明さを称えました。天皇皇后両陛下が1990年代中期にコロラド州を訪問し、日本の人々を代表して感謝の意を表されました。この歴史的結び付きは、後に日本の企業が事業拡大と海外直接投資においてコロラド州を選ぶことを考慮することにつながるのです。



日本関連団体とリソース

コロラドは、以下を含むいくつもの日本に特化した組織の拠点となっています。

在デンバー日本国総領事館: 日本の旅行者・滞在者や現地の日本人コミュニティに向けて優れた領事サービスを提供しています。

<http://www.denver.us.emb-japan.go.jp/jp/index.html>

デンバー日本語補習校: デンバー日本語補習校は1981年に設立されました。以降、日本のカリキュラムに合わせた、JFA会員および定住者に向けて日本語教育を行っています。

<http://www.jsdenver.org/cms/>

コロラド日本企業懇話会(JFA): 1981年に設立され、コロラド日本企業懇話会は、会員や家族につながるの場を提供し、デンバー日本語補習校を運営し、州と現地コミュニティの文化的交流・ビジネス的交流を促進しています。

<http://jfa-colorado.org/>

コロラド日米協会(JASC): コロラド日米協会のミッションは、草の根レベルで、コロラドと日本間の協力関係の強化と理解を構築しています。これは、日本とアメリカの文化にリンクした、ビジネス、教育、文化におけるプログラムにより達成されます。

<http://www.jascolorado.org/>

コロラドハイツ大学(CHU): 帝京大学グループの1校であり、コロラドハイツ大学は、コロラド州デンバーに所在する国家認定の私立大学です。大学には、50を超える国の400以上の生徒が在籍しています。

<http://www.chu.edu/>

生活について



コロラド州の優れた生活の質に魅了されて世界中の人々がやってきます。素晴らしい風景、レクリエーション活動、温和な気候、世界クラスの芸術と文化、安全な地区、優れたヘルスケアや学校といった特徴により、コロラドは最高の場所となっています。州の特徴を評価する際、コロラドは、常に健康管理の質において高い位置にいます。

デンバーは若く、アクティブな都市です。300日は晴天に恵まれ、歩きやすい市街は、オープンカフェが並び、ファーム・トゥ・テーブルの料理や現地製造のビールを味わうことができます。また、自然やアウトドア体験にも最適です。この地を訪れる人々は、デンバーのにぎわう町に触れ、最高のショッピングを体験でき、デンバー美術館のアメリカインディアンおよび西部アートの世界クラスのコレクションを鑑賞できます。健康や環境に優しい都市の一つであるデンバーは、アメリカで2番目に大きいパフォーミング・アーツ・コンプレックスがあり、7つのプロスポーツチーム、多くのミュージアム、文化活動およびフェスティバルが催されています。

コロラド州の従来より注力してきた低税率は、メトロ・デンバーの世帯収入の高さと相まって、地域の生活費は国内の平均生活費に近いものとなっています。コミュニティ・経済研究カウンスルによれば、コロラドの平均生活費は、東海岸と西海岸の都市よりも30%低く、コロラドは事業拡大に最適な地です。

文化とレクリエーション

コロラド州は、ロッキー山脈地域の文化資本であり、一つの場所で様々なアートが体験できる、国内第2位の規模を誇るデンバー・パフォーミング・アーツ・コンプレックスがあります。来館者は、デンバー・パフォーミング・アーツ・コンプレックスや州内のその他の会場で交響楽団、バレエ、オペラ、演劇、ツアー公演を楽しむことができます。

コロラドの温和な気候とウェルネスへの注力により、国内でもアクティブで健康なエリアとなっています。4つの国立公園、42の州立公園、11の世界クラスのスキーリゾート、いくつもの温泉を含む国内大規模の公共公園システムと共に、アウトドアを満喫する機会が多くあります。

コロラドの主な魅力:

- デンバー動物園
- デンバー自然科学博物館
- デンバー・パフォーミングアーツ・センター
- デンバー植物園
- デンバー美術館
- コロラド交響楽団
- コロラド・バレエ団
- ダイナソー・リッジ
- メサ・ヴェルデ国立公園
- ロッキーマウンテン国立公園

生活費指数

都市	総合指数*	食料	住居	光熱・水道	交通	保険医療	物品、サービス
ボストン、MA	139.7	125.8	176.5	144.4	104.4	126.3	130.2
シカゴ、IL	115.3	98.4	136.2	98.9	124.4	97.9	109.6
ダラス、TX	95.9	92.6	76.0	106.9	102.5	99.3	106.7
デンバー、CO	104.2	93.7	116.3	101.3	95.0	103.9	103.4
ロサンゼルス、CA	130.4	103.1	198.2	108.1	111.3	109.7	105.2
サンディエゴ、CA	130.0	101.9	200.3	97.7	113.6	109.9	104.9
サンフランシスコ、CA	161.6	119.5	295.6	95.1	115.2	120.1	116.8
サンノゼ、CA	149.3	110.7	257.4	123.3	112.4	114.8	106.9
シアトル、WA	119.1	102.9	141.1	97.0	118.6	119.1	115.1
ワシントン、DC	140.1	108.2	249.3	104.1	105.8	98.8	96.9

出典：コミュニティ・経済研究カウンスル、2013年度年間平均指数。全国平均 = 100。